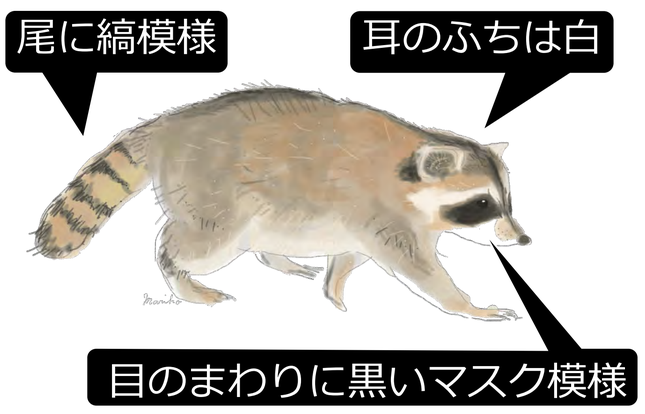
アライグマのモニタリング調査

生態系被害や農業被害などが問題となっている特定外来生物アライグマの対策を、科学的・計画的に進めるために、分布状況や被害状況の把握を行っています。

アライグマとは？

- 北アメリカ原産の哺乳類です。
- 被害が大きいため、**特定外来生物**に指定されています。



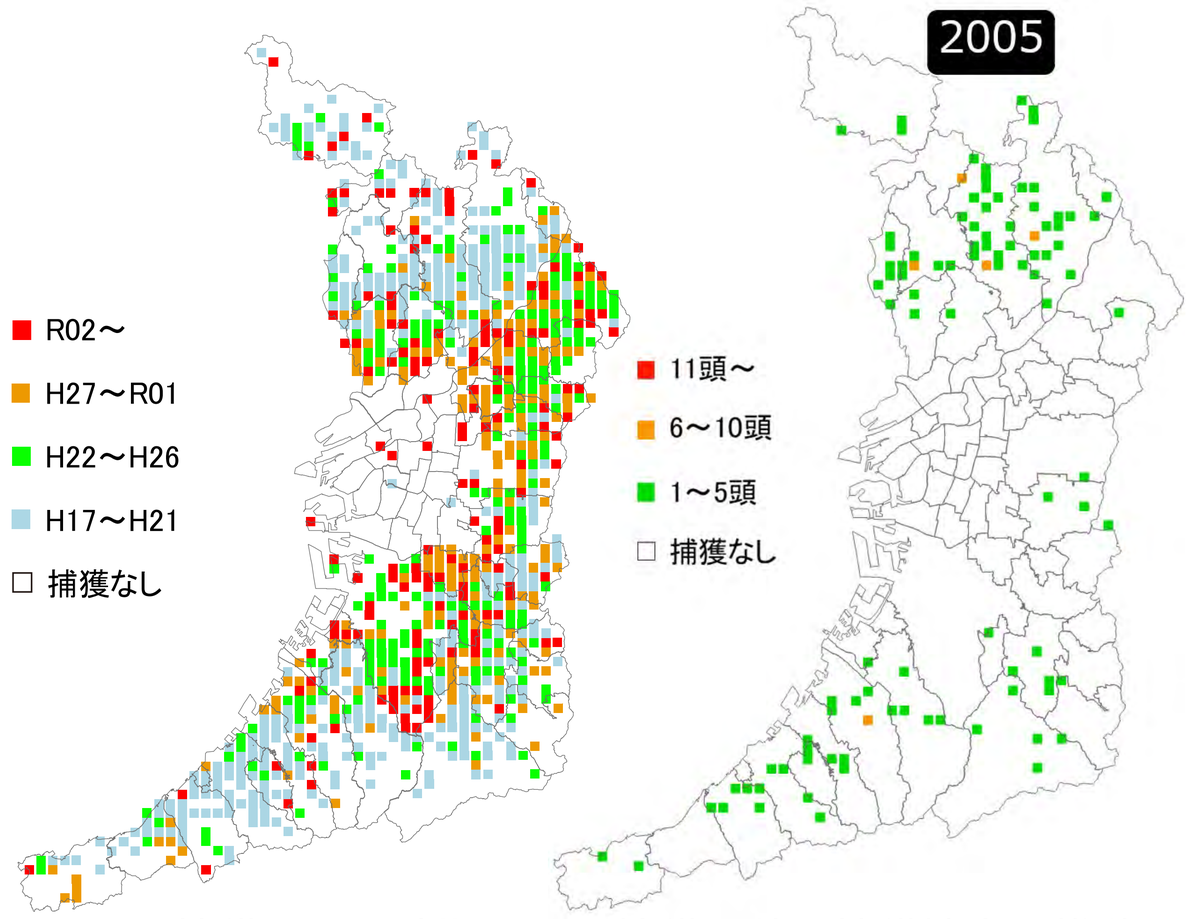
- 体重：4～10kg
- 食性：雑食
  （ほぼ何でも食べる）
- 繁殖：年1回
  春に3～5頭を出産
- 生息：森林～都市部
  （幅広い環境に生息）
- 性質：手先が器用
  気性が荒い

木に登るアライグマ

イチゴを食べるアライグマ

アライグマの分布状況

- 大阪府内では、2002年度に茨木市と河内長野市で捕獲されたのが最初の記録です。
- 2010年頃には北河内地域にも分布が拡大したようです。
- 2015年頃からは都市部を中心に分布が拡大しました。
- 近年もさらに分布が拡大し続けています。

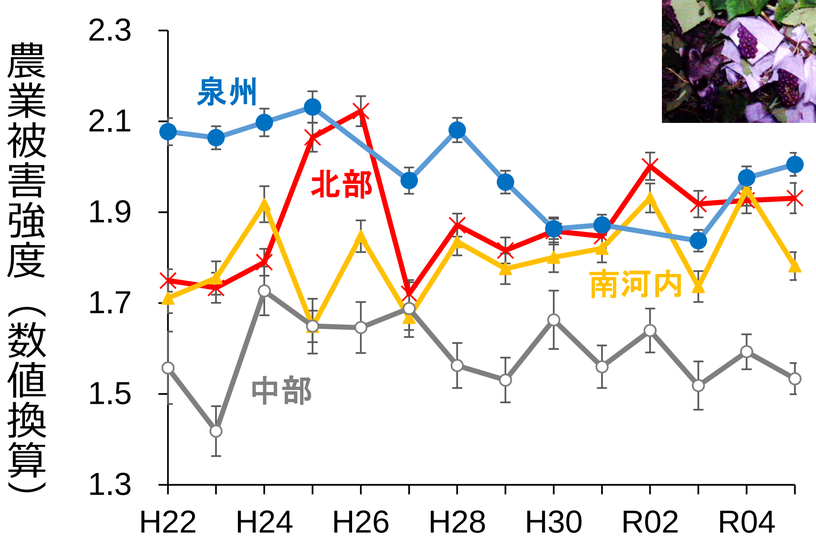


初めて捕獲された時期　　捕獲頭数と捕獲地点の推移

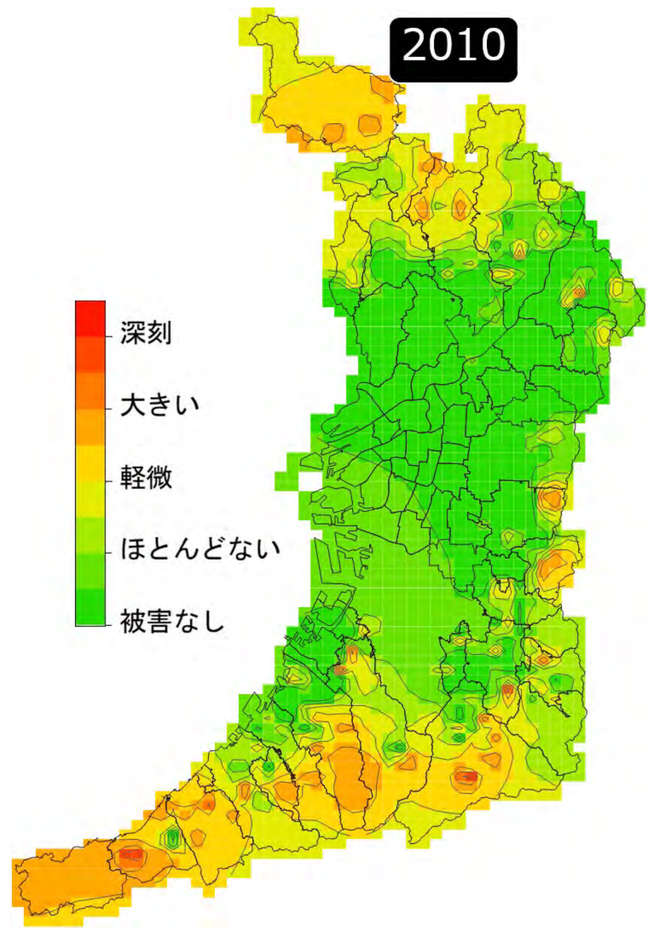
※捕獲地点を基準地域メッシュ（約1km四方）ごとに集計

農業被害の分布状況

- 分布拡大にともない、2010年以降北河内地域でも被害が増加しました。
- 近年は、都市部でも被害の発生がみられます。
- 中部や南河内地域ではほぼ一定で推移している一方、北部や泉州地域では近年やや増加傾向にあるようです。



アライグマによる農業被害強度の平均値の推移
（※被害なし：0、ほとんどない：1、軽微:2、大きい：3、深刻：4、にそれぞれ数値換算）



農業被害強度の分布とその推移
＊農業実行組合へのアンケート調査から評価

２０２４年９月

地方独立行政法人 大阪府立 環境農林水産総合研究所
生物多様性センター